

文中（※）が付してある用語などは、P18～P20 に「参考」として詳しい解説を掲載しています。



1 地域で支えあうまちづくり

1 - I 子どもから高齢者まで、健康でいきいきと暮らせるまちをめざします

【現状】

少子高齢化、核家族化が進む中で地域における住民同士のつながりも薄れてきており、子育て家庭や高齢者、障害者（児）の方々に対する支援の必要性は高まっています。

また、誰もがいつまでも健康でいきいきと暮らせるように、地域における健康づくりへの取り組みも重要性を増してきています。

① 子育てママを応援します。

【目標】

子育て中のママの育児不安を軽減します。

民生子ども課、保健予防課、区社会福祉協議会

- (1) 主任児童委員などの協力を得ながら、対象家庭への「エンゼル訪問（赤ちゃん訪問）」※の訪問回数を増やすなど、それぞれのご家庭のご要望に応じて子育てに関する相談にあたります。



エンゼル訪問（赤ちゃん訪問）

- (2) 「子育てサロン」※の充実、拡大の手法などについて、地域の協力を得てモデル地区を設定するなどにより検討していきます。



子育てサロン

- (3) 民生委員など、地域の皆さまと協働して実施する「ちくさふれあい1／2（にぶんのいち）成人式」※を4小学校から5小学校に増やし、児童が命の大切さを学ぶとともに、子育て中の母親同士の交流を深める場として提供していきます。

② 高齢者がいつまでも健康でいきいきとした生活を送れるよう応援します。

【目標】

- ・高齢者の生活機能の低下を防ぐ健康づくりや生きがいづくりができるようにします。
- ・認知症の方とその家族やひとり暮らしの高齢者が地域で安心して暮らせるようにします。

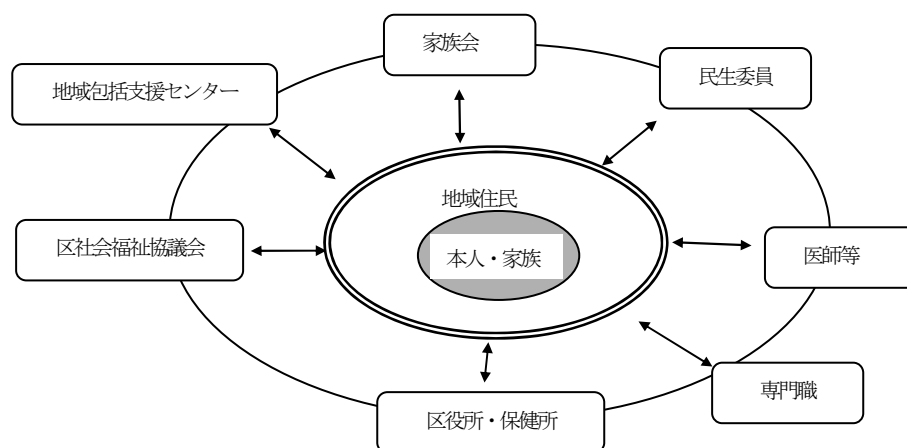
福祉課、保健予防課、区社会福祉協議会

(1) 地域と協働して「地域介護予防教室」や「地域住民グループ支援事業」を実施することにより、高齢者の生活機能の低下を防ぎ、健康でいきいきとした生活を支援します。

(2) 認知症の方などを地域で支えるため、「千種区認知症地域連携の会」(※)と連携して身近な相談窓口(※)を開設して生活をサポートします。

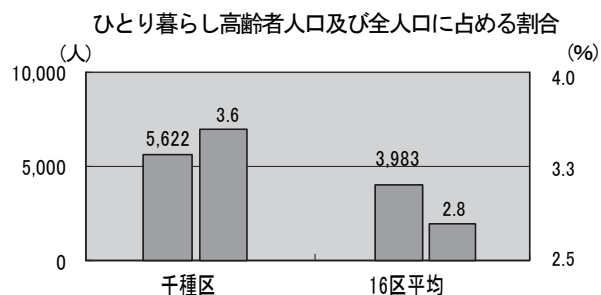
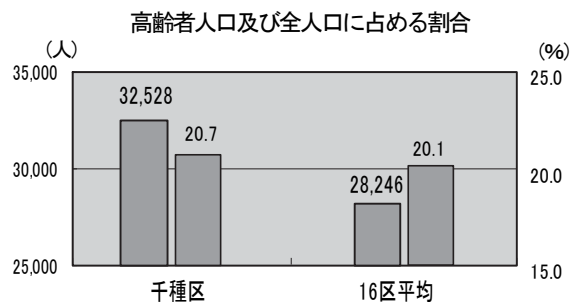
また、医師会や民生委員、家族会などの協力を得て、認知症に関する理解を深める活動や認知症の家族などを対象とした学習講座などを実施します。

＜認知症の方などを支援するネットワーク＞



(3) ひとり暮らし高齢者の孤立死を防ぐため、民生委員、自治会長、協力・支援者などで「地域見守りネットワーク（仮称）」を立ち上げて、連携協力体制づくりに取り組みます。

＜高齢者（65歳以上）の状況（平成20年10月1日現在）＞



③ 障害者(児)の地域生活を応援します。

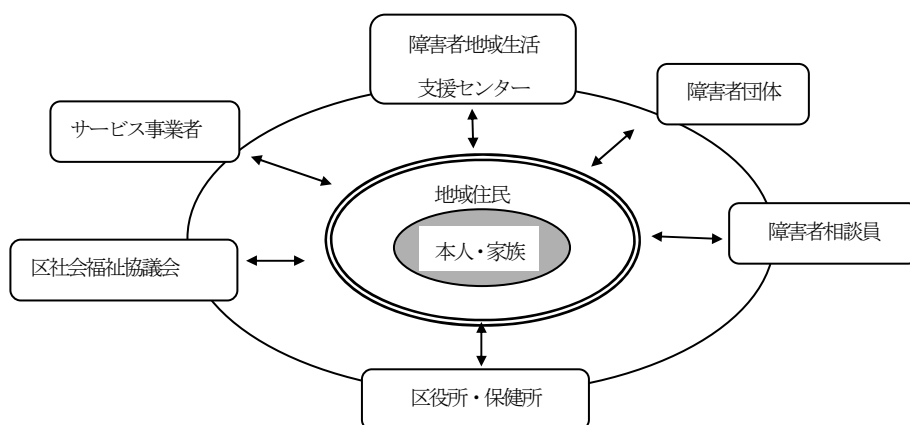
【目標】

障害者(児)が住み慣れた地域で安心して暮らせるようにします。

福祉課、保健予防課

- (1) 障害者地域生活支援センターやサービス事業者などと連携して障害者地域自立支援協議会 ※ の運営を支援し、障害者(児)の地域生活を援助するネットワークの整備をすすめます。

＜障害者(児)支援のネットワーク＞



- (2) 障害者本人や介護者の高齢化への備えをすすめるため、障害者地域生活支援センターと協力し、成年後見制度と権利擁護についての理解が深まるよう支援していきます。

④ 地域における健康づくりを応援します。

【目標】

地域の方が参加できる健康づくりの場を充実させます。

保健予防課、区社会福祉協議会

- (1) 健康づくりに関心のある区民を対象に、講習会を開催し、地域における健康づくりのリーダーを育成していきます。
- (2) 地域が主催する健康教室などに医師、保健師、栄養士、歯科衛生士などが積極的に参加します。

1 - II 安全で、安心して暮らせるまちをめざします

【現状】

地震などの災害に備えた地域の防災活動、振り込め詐欺やひったくりに関する防犯活動、主に高齢者や自転車利用者を対象とした交通安全活動などの充実が望まれています。

また、放置自転車は歩行者の通行の妨げになることから、適正な自転車等駐車場の利用を促進することが必要です。

① 地域ぐるみで防災力を高めます。

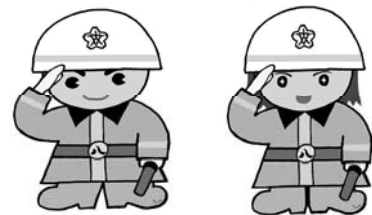
【目標】

大規模地震や風水害などが起きた時に、自分と家族を守り、地域でお互いに助け合えるように、日頃から災害に対する備えを強化します。

総務課、消防署

(1) 災害が起きた時に、地域で中心的な役割を担う防災リーダーを育成 ※) するため、全学区でリーダー講習会を実施します。

(2) 地域の協力により、定員に満たない消防団の団員の充足を図ります。



(3) 地震災害時の被害を最小限にとどめるため、モデル学区を選定して、耐震診断や家具の転倒防止を実施する世帯を増やします。

(4) 災害が起きた時に、お互いの安否確認や救出を少しでも早くできるように、助け合いの仕組み ※) を確立する自治会・町内会を増やします。



(5) 火災による犠牲者を一人でも少なくするため、地域と連携して住宅用火災警報器を設置する世帯を増やします。

② 区民の防犯意識を高め、区民による自主的な防犯活動を支援します。

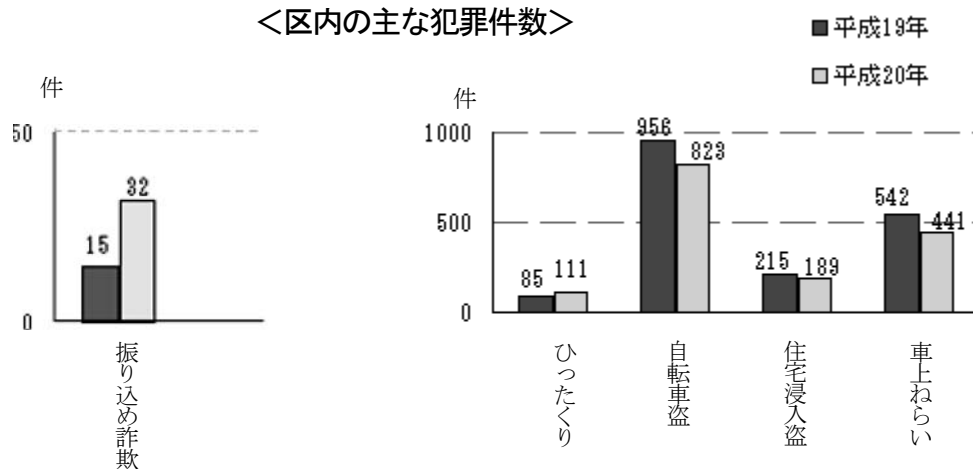
【目標】

区民が安心して暮らせるよう、犯罪発生件数を前年比で 6%減少させます。

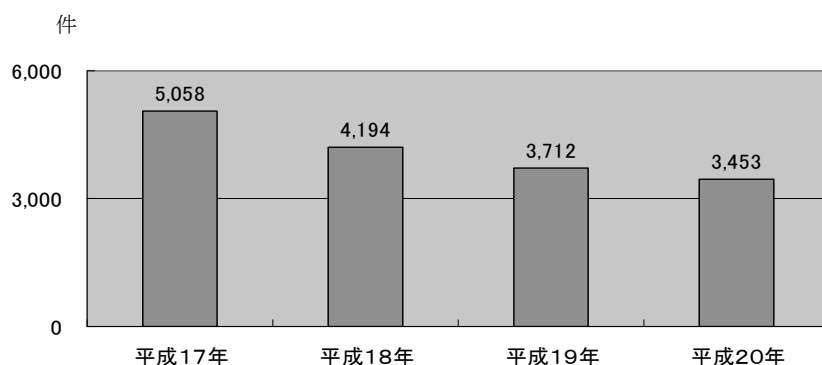
まちづくり推進室

- (1) 警察署と協力し、自転車利用者に対して鍵のツーロックや防犯登録など自転車の盗難防止について注意を喚起します。
- (2) ひったくりの発生しやすい場所などを重点に、警察署や地域の自主防犯組織などと連携して青色回転灯車による防犯パトロールを行うとともに、犯罪被害に遭わないよう女性や高齢者を対象とした啓発に取り組みます。
- (3) 夜間における空き巣や車上ねらいなどの犯罪を防止するため、町内会・自治会などと協力して防犯灯などの設置をすすめます。

＜区内の主な犯罪件数＞



＜区内の犯罪発生件数の推移＞



③ 子どもたちが健全に育つよう応援します。

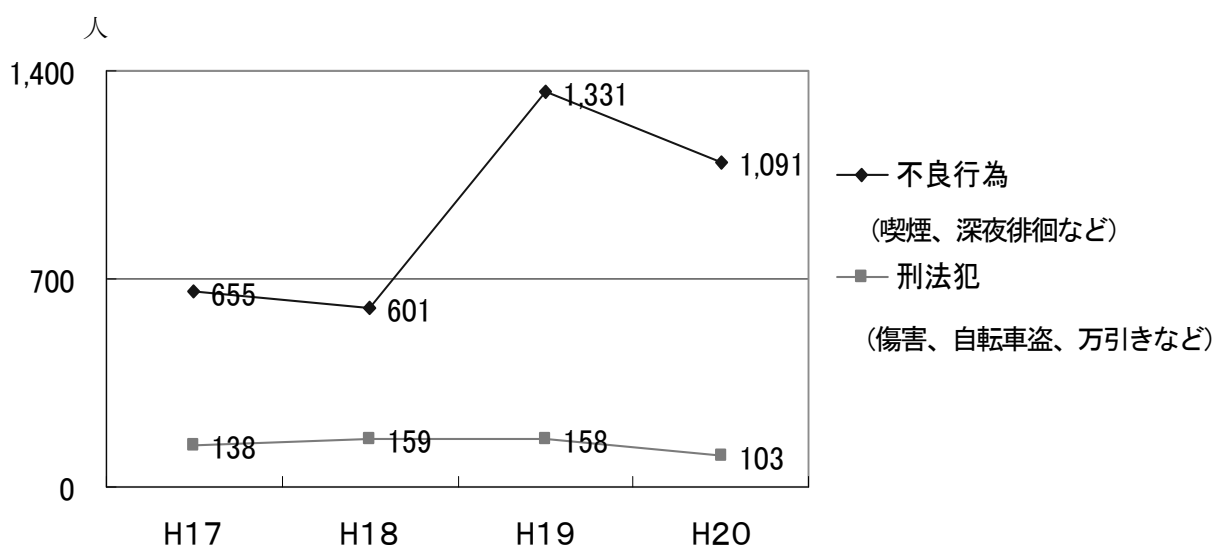
【目標】

子どもたちが事件に巻き込まれたり非行に走ることがないようにします。

まちづくり推進室

- (1) 学区連絡協議会^(※)や関係団体による登下校時における子どもたちへの声かけ活動などを支援するとともに、地域の世話やき活動のサポーターを増やし、子どもの見守りをすすめます。
- (2) 小学校低学年の児童を対象に、警察署と連携しながら自分の身は自分で守ることの必要性について教え、身につけさせていきます。
- (3) 中学生を対象に、警察署と連携しながら自分の命の大切さについて自覚させ、非行防止につなげていきます。

＜区内の刑法犯少年の検挙数と不良行為少年の補導数＞



④ 高齢者や自転車利用者に対する交通安全の取り組みを強化します。

【目標】

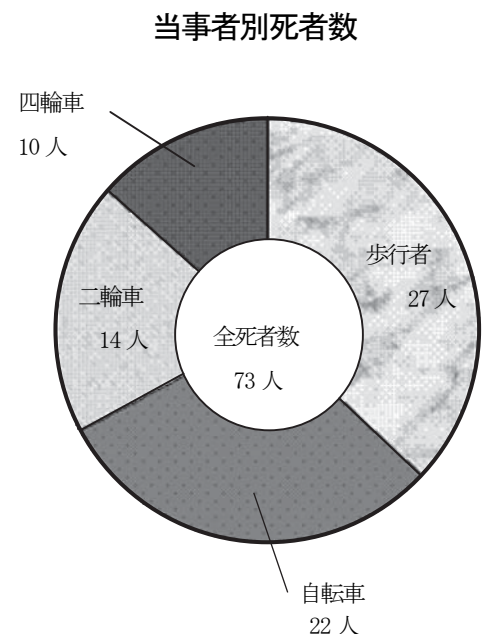
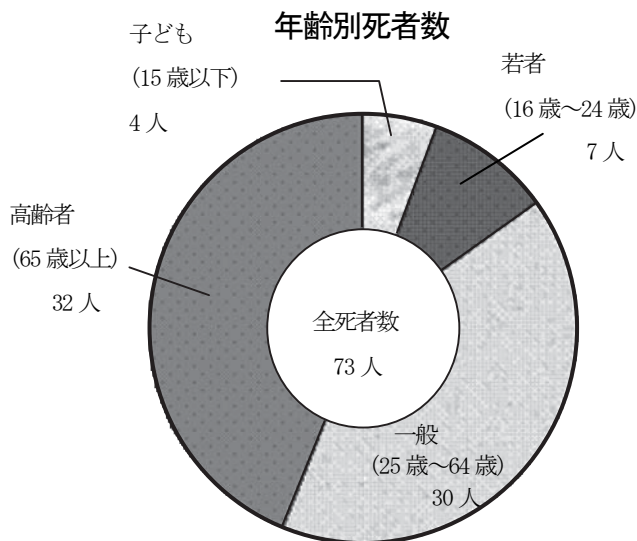
区内の交通死亡事故及び人身事故を前年以下に減らします。

(平成20年 死亡者数 4人、負傷者数 1,370人)

まちづくり推進室

- (1) 交通事故死亡者の約半数を占める高齢者の事故や急増している自転車事故の減少をめざすため、老人クラブ、町内会、事業者などと協力し、コミセンなどでの会合の機会をとらえて自転車の安全走行や夜間の反射材の着用などを呼びかけます。
- (2) 警察署や学区連絡協議会などと連携し、子どもから高齢者までの各世代に応じた実践的な交通安全教室を各地域で開催し、啓発に取り組みます。
- (3) 商店街や事業所などと協力し、交通安全市民運動の期間などに「高齢者や子どもを見かけたら減速する」など、ドライバーに対して思いやり運転の実施を呼びかけます。

＜市内の交通事故発生状況（平成20年）＞



⑤ 千種駅周辺を中心に放置自転車を追放します。

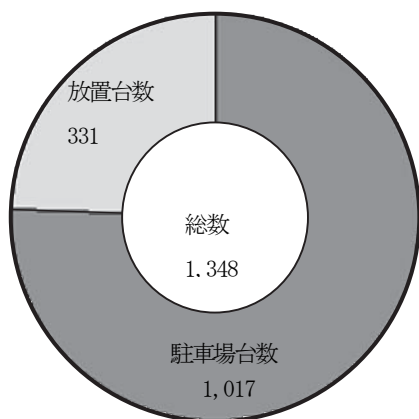
【目標】

自転車の放置をなくし、歩行者が安全に通行できる歩道を確保します。

まちづくり推進室、土木事務所

- (1) 本年5月1日から実施する千種駅周辺の自転車駐車場の有料化に伴い、学区連絡協議会などと協力して放置自転車等追放キャンペーンなどを行い、自転車の近距離利用の自粛や有料駐車場の利用を呼びかけ、放置自転車を追放します。
- (2) 今池駅周辺の自転車駐車場の有料化に向け、関係者との連携を図りながら準備を円滑にすすめます。

＜千種駅周辺駐車台数＞
(平成20年11月現在)



千種駅周辺